

## 「第1回 公民館パワーアップ講座」

平成29年6月1日(木) 青森県総合社会教育センター 第1研修室  
受講者33名

平成29年6月1日(木)に、地域コミュニティの中心としての公民館を活性化させるために、必要な知識及び技術を習得することをねらいとし、「第1回 公民館パワーアップ講座」を実施しました。公民館職員や市町村教育委員会職員を中心に県内各地より33名が参加しました。

### ★講義「公民館運営の現状とこれから～地域の教育力向上のために公民館ができること～」

青森公立大学 経営経済学部 教授 内海 隆 氏を講師に迎え、公民館の変遷や地域コミュニティの変化、そして現在の公民館に期待されていることやあるべき姿等について御講義いただきました。これまでの御経験に基づき、県内各地の公民館の具体的事例なども交えながら、示唆に富んだ内容を御教示いただきました。

#### 【概要】

- ・ 戦後から現在まで公民館の果たすべき機能・役割には、「地域住民の憩いの場」「生活改善センター」「多目的な学習施設」「社会教育関係団体の拠点」が挙げられる。
- ・ このような役割を果たしながら「民主主義の学校」にもなっていた。
- ・ 生涯学習という考えが入ったときに「個人の教養を高める講座」が中心となってきた。しかし、公共のものではないとの視点があり、次第に「学習したことを生かす」「学習者のその後の活用」「ボランティアへ」と変わってきている。
- ・ これからは「役に立つ公民館」に向かうべきである。そのためには「地域学習」「住民の心に何かをつくる」(まちづくりへと向かう意欲を育てる)「公民館を『人の駅』にする」(ヒューマンネットワークを作る場所として機能させる)「ヒト、もの、事業の統合される教育機関へ」(公民館の元来の機能を見直す)という視点が必要である。
- ・ 新しい公民館三階建論①住民の自主的主体的な学習活動を支援(集う場所)②身近な生涯学習の中核的施設(学ぶ場所)③世代を超えた地域づくりの拠点(結ぶ場所)という考え方が重要となってくる。



講師・コーディネーター  
内海 隆 氏

### ★パネルトーク「私の公民館運営のポイント」

パネリストのお二人の実践発表では、おすすめの事業や普段苦労していることなどが紹介されました。

#### 東北町中央公民館の取組 館長補佐 桜井 文雄 氏

◎特色ある事業やたくさんの事業を、町民の自主的な運営になるように図っている。

#### ○ 特色ある事業

- 「実年式」(おすすめ)
  - ・ 60歳を祝うために実行委員を依頼。
  - ・ 自分たちで企画運営してもらう。
  - ・ 役所は式典、祝辞、記念写真のみ行う
- 「町民歩く集い」



パネリスト 桜井 文雄 氏  
(東北町中央公民館)

- ・ バスを1台用意し、県内の景勝地などでハイキングする。
- ・ 出発と到着の時間を計算し、歩く時間が決まる。
- ・ 人気がある事業

#### ○58ある講座やサークル

- 2町の合併した経緯もあり、「公民館サークル」「上北地区公民館クラブ」「文化協会」に分類。
- 「文化協会」は旧上北にある「文化センター」の社会教育課が担当している。

○苦労している点は職員数が少ないこと。一時2人まで減って1人休むと運営に支障が出る状況だったものが、3人に戻してもらった。現在の職員のうち1人は分館の修理などの担当となっている。残り2人で講座等の運営を行っている。昨年参加した人を中心に個別に案内を送り、講座等の参加者を募っている。

### 外ヶ浜町中央公民館の取組 主幹 石岡 大 氏

◎公民館事業を通して、世代間交流や親子同士の交流、参加者同士のネットワークから、町に活気を生み出したい。

#### ○ 公民館講座

- 町民を対象とした「ふれあい講座」(特色あるもの)
  - ◇ 日本の伝統文化である「和」を体験する「日本の伝統に親しむ」～和菓子作り&茶道入門(2つの企画を合体させた。おすすめ)



パネリスト 石岡 大 氏  
(外ヶ浜町中央公民館)

#### ○ 読書活動推進事業

- 学童教室事業「読書会」との共催で月1回開催する「本を読もう」
- 小学生による園児への読み聞かせを体験する「本の読み聞かせをやってみよう」

#### ○ ふれあい公民館まつり 「サークル活動を体験しよう！」体験ブース、ステージ発表、作品展示他

#### ○ 学童教室事業 ～子ども同士の交流の場づくりにも～

- 放課後や長期休みの児童受け入れ、学習活動、体験活動等の展開(遠足による職場見学、十三湖でのしじみ採り体験、学童農園など)

◎苦労している点は、「講座の企画」(アンケートをとっているがマンネリ化)、「参加する年代が高い」(世代間交流にはつながりにくい。2～30代が特に少ない。)、 「人が集まらない」こと。

※ パネルトークではパネリストのおすすめの事業への質問や、参加者自身の実践紹介があり、公民館運営に関する情報交換をすることができました。

#### ~~~~~アンケートより~~~~~

- ・ 今までの「公民館」の考え方を改めて”NEW公民館づくり”を考えていかなければいけないと思いました。
- ・ 東北町のサークル等の多さに驚いた。自分の村は年配向けの講座が少ないので、参考にしたい。「実年式」は、とっても良い事業だと思う。
- ・ 外ヶ浜町の「和」をテーマにした講座に、とても興味がある。
- ・ 地域の特徴を生かした事業を展開し、苦労話などが聞けて、自分も励みになった。簡単に答えが出るものではないが、ヒントになることがあったので、たくさん試してみようと思った。
- ・ いろいろ公民館の事情が聞けるので、今後も機会があれば参加したい。

第2回 公民館パワーアップ講座「ファシリテーション能力を高めよう」は、

9月11日(月)当センターにて開催予定です。